

## 令和4年11月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

### 川崎 祥司 議員

教育行政

#### (1) いじめ対策

- ・いじめを発生させないため、児童生徒間において、自尊感情や人を尊ぶ心を醸成させるコミュニケーション能力を身に付けさせることが重要と考える。いじめ根絶に向け、どう取り組むかお尋ねしたい。

#### (教育長答弁)

いじめの多くは、自尊感情の低さやコミュニケーション能力、情動コントロールの未熟さなどが原因となって起こるものと考えており、これまでも「長崎っ子の心を見つめる教育週間」などの取組を通して、他者への思いやりや規範意識の醸成など、よりよく生きるための基盤である道徳性を養ってきたところです。

また、現在、子どもたちが望ましい人間関係を育むことができる教員向けの実践事例集を新たに作成しているところであり、これを全ての学校に配布し、グループワーク等の場面で効果的に活用していただくことで、子どもたちが互いに認め合い、支え合う風土を醸成し、いじめの根絶に向け全力で努めてまいります。

#### (2) 不登校対策

- ・公が設立するフリースクールの運営を、民間に委託する官民連携のフリースクールが稼働しているが、教員の負担が増加する中、その支援に長けた民間の活用について見解をお尋ねしたい。

#### (教育長答弁)

不登校児童生徒を、学校現場や教育委員会だけではなく、社会全体で支えていくという観点から、民間の力を活用することは大変重要であると認識しております。

このため、県の不登校支援協議会において、専門家やフリースクール等関係者からご意見をいただきながら、現在、美術館や博物館、地元プロスポーツ等民間の力を活用した新たな支援対策について、次年度に向けた検討を行っているところであり、今後市町教育委員会とも連携しながら、不登校支援の一層の充実に取り組んでまいります。